



12月

ちゅうりっぷ1くみだより

No.20

12月18日（金）

生き物に触れよう！

～カマキリ、カナヘビを育ててみよう～

今、ちゅうりっぷ1組では、カマキリの卵とカナヘビを飼育しています。以前、靴箱付近で見つけたカマキリが卵を持っていることが分かり、みんなに「カマキリの赤ちゃん見たい？」と聞くと「見たい！」ということで、育てることになりました。そして、しばらくたった頃、無事にカマキリが産卵し、子どもたちも大喜びで「いつ、赤ちゃん出てくるかな？」と様子を見守っています。母カマキリはみんなで話し合い、自然に返し、卵を育てることに決めました。産まれるのは春頃ですが、ワクワクしているようです。

そして、カナヘビは散歩先で見つけ、「一緒に持って帰りたい」ということで、お部屋に連れて帰りました。「これいるかな？」と話しながらみんなで木の枝を用意したり、葉っぱを用意したりして、子どもたちと一緒に飼育環境を整えました。カナヘビが何を食べるのかを、散歩の時にみんなで探しながら見つけ、ここ最近では「お散歩行こ！カナヘビのご飯探さなきゃ」とカナヘビがよく食べてくれる小さなクモを探すことに夢中になっている姿も見られます。

毎朝、「カナヘビさーん！元気？」と挨拶したり、「ご飯美味しいって言ってる！」「お水あげるよ」と霧吹きでお水をかけてあげたりして、お世話を頑張っています。カナヘビやカマキリの飼育を通して、虫が苦手だった子も、虫に積極的に触れることを楽しみ、興味を持って関わろうとするなど、変化する姿が見られています。命に触れることを経験し、子どもたちなりに楽しんで、命の大切さや、生き物の面白さを感じていっていただければと思います。また、子どもたちからも、お話を聞いてみてくださいね。

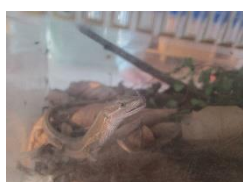
カマキリさんだ！



カマキリの卵、固いね



優しく、ちよん！



お水をあげるよー

カナヘビさんに葉っぱどうぞ

クモ、捕まえた！
カナヘビ、食べるかな？